

同朋講座開催要項

1. 目的

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)に取り組むにあたり、基幹運動(同朋運動)の経緯を踏まえ、部落差別をはじめ、人権・差別問題についての基本的認識を深めることを目的とする

2. テキスト(2025年度現在、テキストは指定していません)

~~「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 教区委員会 同朋部制作の「リーフレット」を基本テキストとする。また、組で選定した、目的に則した独自のテキストを使用することもできる。~~

~~*「リーフレット」について~~

~~問題提起に用いる(連研ノートと同じ役割を持つ)~~

3. カリキュラム

- ・ 1期 = 2年4回
- ・ 必修単元: 部落差別
- ・ 選択単元: 次の中からテーマを選択する
ハンセン病差別・非戦平和・男女共同参画・障害者差別・
(在日)外国人差別・教団の歴史・現地学習
※目的に則した独自のテーマを設定することもできる

4. 研修対象

- ・ 組を単位とし、門信徒ならびに僧侶・寺族を対象とする。
- ・ 同一人物が連続して受ける。

5. 基本日程

連研形式の3時間研修を原則とし、話し合い法座により研修を深める

・ 開会行事	15分
・ 問題提起	30分
・ 班別討議(話し合い法座)	60分
・ 班発表	20分
・ まとめ	30分
・ 閉会行事	10分
(途中の移動ならびに休憩)	15分)

6. 助成金

- 1回1万円(但し年2回まで)
- 3組以上で合同開催の場合は3万円

7. 申請

所定の申請書(報告書)提出により申請する

8. 研修継続

目的の遂行・拡大のため、1期が終了毎に、原則として参加者を入れ替え継続する

9. 備考

門徒推進員養成連続研修会の1枠として取り組むこともできる。

以上

『同朋（人権）講座』 開催報告書

開催組名 (ブロック)		会場	
開催期日		参加者数	
研修テーマ		講師	
使用教材			
研修 日 程			

研修内容の概略（意見・特記事項など）

研修を振り返って（今後の課題など）

上記の通り報告致します。

組 組長

印